

今こそ「武者語り」で「本人の自覚」を促そう
－教育の目的は「よく生きること」－

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

計画停電や、やや緩やかになったとはいえガソリンの確保が困難な中、無事 3 月分の授業終了までこぎつけて頂きありがとうございます。心より感謝申し上げます。

2. 東日本大震災から 2 週間が経過し、「大混乱」から少しずつ落ち着きを取りもどしつつある地域も少しずつ出始めました。何のために生きるのか、何のために学ぶのか、何のために働くのかなど「武者語り」も本格的にスタートして頂きたく希望します。

(1) 東日本大震災は、日本の歴史の教科書に掲載されるような大事件です。被災地の方々はもとより、おそらく東日本に住むすべての人々の生活が一変するような大事件であります。原子力発電所の取り扱い方しだいでさらに被害が拡大する恐れすらあります。

(2) このような厳しい状況ではありますが、東日本の茨城・栃木・群馬の 3 県で生活し、仕事をする我々は、生き抜かなければなりません。どんなことがあろうとも、起ころうと生きて、生きて、生き抜かなければなりません。

(3) 大切なことは、このような状況の下で、どのように生きるかということだと思います。教育は何のためにあるのかという根本的な問いに対する答えの一つに、「ひとりひとりがよく生きるため」というものがあります。教育の目的に「ひとりひとりの人生の成功」を掲げる場合がありますが、私は「人生の成功」とは「よく生きること」ではないかと考えます。

(4) 何回かご紹介させて頂いたように内村鑑三先生は「後世への最大遺物」(岩波文庫)という講演の中で、人は死んだ後、後の世(後世)に遺せるものとして「お金(遺産)」と「事業(仕事)」、「著作(作品)」と「教育(教え)」に加えて、ああ、あの人はあのようによく生きたのだなという「生き方」を遺せると教えて下さいました。その人なりに「よく生きる」ことが人生では大切で、「よく生きる」チャンスをたくさん持ってもらうために教育はあると私は考えます。

(5) 人は学べば学ほど「知識」・「情報」、「技術」が身につきます。それら 3 つを組み合わせ、相互作用的に用いることで人生の選択肢を広げることができます。「人生の選択肢」を増やすための勉強は厳しく、また、困難、つらいかも知れませんが、勉強は着実にすればするだけ、「人生の選択肢」を数多く持つことができます。勉強は時間をかけて、また、やり方を工夫してやれ

ばやるだけ成果が出ます。怠け者に福は来ることは余りないが、努力を積み重ねれば着実に成果が出るのが勉強だからです。

(6)開発途上国の最大の課題は、貧困のために教育の機会が与えられないということです。学校という建物がない、建物はあっても先生がいない、教材(教科書やノート、筆記用具、教具)が極端に不足している。そのために、初等教育(小学校6年まで)を終えることができない。中等教育(中学校と高等学校)に進学できる人は少ない。高等教育(大学、短期大学、専門学校)に進学できる人は更に少ない。ごく一部の優秀な人は大学や大学院まで進学しても、余りの貧しさのために母国に帰らず先進国で活動する。この貧困の連鎖をどのように断ち切るかは、一国だけでは解決できない深刻な問題なので、人類の課題となっています。貧困の中に生きるという「人生の選択肢」しかない状況から脱却する唯一の方法は教育であると私には思えてなりません。

(7)このように、東日本大震災の計画停電の暗闇は、ものごとを根本のところから考え直すよいきっかけを私たちに与えてくれています。このようなときにこそ Return To Basic(リターン・トゥ・ベーシック)、基本に戻り、自分の人生、生き方、何のために学ぶのか、働くのかをゆっくり考えて見たいと思います。目の不自由な状態とはどのようなことかを体験するよい機会であるかも知れません。(目の不自由な方の立場で数時間過ごすことは、よい勉強だと私は思います)

＊私でしたら以上のような内容の「武者語り」をします。御参考まで。よく考えれば私の「武者語り」は CRT ラジオ栃木放送の「開倫塾の時間－林明夫の歩きながら考える－」かも知れません。この番組は、始めの数年は足利のスタジオから生放送で毎週放送していましたが、放送を始めさせて頂いてから、この3月で25周年目を迎えました。私もラジオ番組、日本経済新聞や読売新聞や海里塾ニュースなどのコラムの中で「武者語り」を頑張りますので、校長先生・全教職員の皆様も1時限の授業で3分間以上、「武者語り」をすることで塾生一人ひとりの「本人の自覚」を促して下さい。学力を身につけることが自分の人生の選択肢を広げる、多様な選択肢を持つことに直結することをお教え下さいますよう、心からお願い申し上げます。

3. おわりに

来週から春期講習に入り、4月には新学期を迎えますが、ゴールデンウィークが終了するまで、または6月中旬までこの混乱は続くかも知れません。「気持ち」をしっかり持ち、「自覚」を持って今やるべきことをしっかりやり抜くよう「武者語り」で励まして頂きたいと心からお願い申し上げます。

感謝

本日(2011年3月26日)の日本経済新聞の朝刊日経プラスワン「エコノ探偵団」の特集をFAX致します。是非、塾生にご紹介下さい。

先生方が御自宅でお読みになった記事で塾生の「自覚を促す」と思われるものがあれば、翌日以降にでも切り抜いて頂き、校舎に掲示したり、コピーして授業中御紹介頂ければ素晴らしいNIE(Newspaper In Education:新聞を教育へ)活動になると確信します。どうかよろしくお願いします。

林 明夫